

ゆめ木風3 児童発達支援事業所自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 3月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	5	活動内容や児童の状況に応じて仕切りを使用したり、配置物を移動させたり環境を整備し、小集団で活動を分けたりして工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1	基本数2+加配を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	4	本人にわかりやすいよう写真や文字での視覚的な表示をしている。雪や雨の時に危ないので外階段に手すりが必要。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	毎日掃除・消毒を行っており清潔に保っている。活動スペースを分けたりして活動に合わせた空間づくりをしているが、導線が狭くなってしまう。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	2	毎日の申し送りやフロア会議、連絡ノートなどで職員間の情報共有と問題点の改善を図っている。振り返りの部分の強化に努めたい。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	毎年決まった時期に保護者に事業所評価を実施し、意見や要望があれば原因・対策を考え改善に努めていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	ホームページにて公開し、毎年更新している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3	外部評価も行うことで、結果内容について話し合い業務改善につなげていく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	リモートで定期的に勉強会が実施されている。外部の研修などにも積極的に参加していきたい。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	保護者や相談支援員などと情報を共有しながら職員からの意見も合わせ客観的に分析し作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4	児童の個人記録などを用いて状況把握に努めている。今後標準化されたアセスメントツールを構築していきたい。

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	3	児童のニーズに沿った支援内容を設定しているが、家族支援や地域支援で示される支援内容を把握していきたい。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	支援計画を把握し、計画に沿って細かいところは日々情報や状況を共有しながら支援を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	担当者を中心に職員同士話し合い立案しているが、いろんな職員が多方面から意見を出し合っていきたい。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	マンネリ化しないように心がけている。児童の状況をよく把握して活動プログラムを考え提供する。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	2	児童に応じた個別活動と集団活動での支援内容をしっかり把握する。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	全体の朝礼後にフロアで前日の様子や当日のことについて確認を行っている。職員全体で共通認識が持てるように協力していく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	その日の振り返りや問題点などを共有しているが、状況によってはできない場合があるので、その際に連絡ノートを活用したり職員全体が発信し合い気づいた点などを共有できるように心がける。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2	支援経過表にて日々の支援に関して記録をとっている。記録の仕方を統一したり運用の仕方を工夫することで支援の検証・改善につなげていきたい。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	少なくとも6か月に1回は定期的にモニタリングを行い、見直しを実施している。状況に応じたモニタリングの必要性も判断していく。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	主に児発管が参画している。今後職員の質も高め、子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画できるようにする。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	1	状況に応じて関係機関と連携した支援を行っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	必要に応じて支援内容等の情報共有と相互理解を図れるように対応している。
	㉖	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	必要に応じて支援内容等の情報共有と相互理解を図れるよう対応している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	機会があれば連携を行い、助言や研修等も受けていきたい。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	7	コロナ禍で、なかなか交流が難しい。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	7	なかなか参加できていないので、機会があれば参加したい。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	送迎時や連絡帳などで日頃から子どもの状況を伝えあい、理解を深められるようにしている。

③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4	4	勉強会や研修を受けるなど職員の家族支援に対する知識や技術を取得する必要がある。
③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1	契約時に丁寧に説明をするよう心掛けている。質問があった際に児発管だけでなく説明できる知識の習得が必要。
③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	説明を行い、同意を得ている。丁寧な説明を心掛けていく。

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	モニタリングや個別面談など日頃でも相談があった際には状況に応じて適切に応じ、助言や支援を行っている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	毎年保護者会を開催しているが、多くの保護者が参加できるように内容等を充実させて保護者同士の連携を支援していきたい。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	職員間で共有できるようにし、状況に応じた職員が対応するなど迅速に対応できるように心がけている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	月に一度活動報告や行事予定などを載せて通信を配布している。連絡等があればその都度お知らせとして発信している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	個人情報の取扱いに関しては契約時に文書にて確認させてもらったり、書類の保管の場所を定めたり処分の仕方にも十分気をつけている。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	特性に合わせて視覚的なものも活用しながらわかりやすい言葉を選んだり状況に応じた伝達方法に配慮している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	今後地域に開かれた事業所となれるように努めたい。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	1	各マニュアルは策定しているが、新任の職員に対してや保護者への周知不足がある。また、様々な状況を想定した訓練を実施していきたい。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	定期的に避難訓練を行っているが、あらゆる災害を想定して内容も充実させていく必要がある。
	④⑬	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	利用が始まる前にアセスメントを行い、状況を確認している。また、状況についても定期的に確認している。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	アレルギー調査票に協力してもらい、注意・配慮している。医師からの指示が必要な場合にはしっかり対応していく。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2	事例集を作成して共有できるように回覧しているが、事例について検討するなど職員全体の共通認識が必要。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	虐待防止の勉強会を実施しており、定期的にセルフチェックを行っている。さらに内容を充実させていきたい。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	3	実績なし。 やむを得ず行う場合は承諾書を準備しており、承諾を得た上で児童発達支援計画に記載する。